

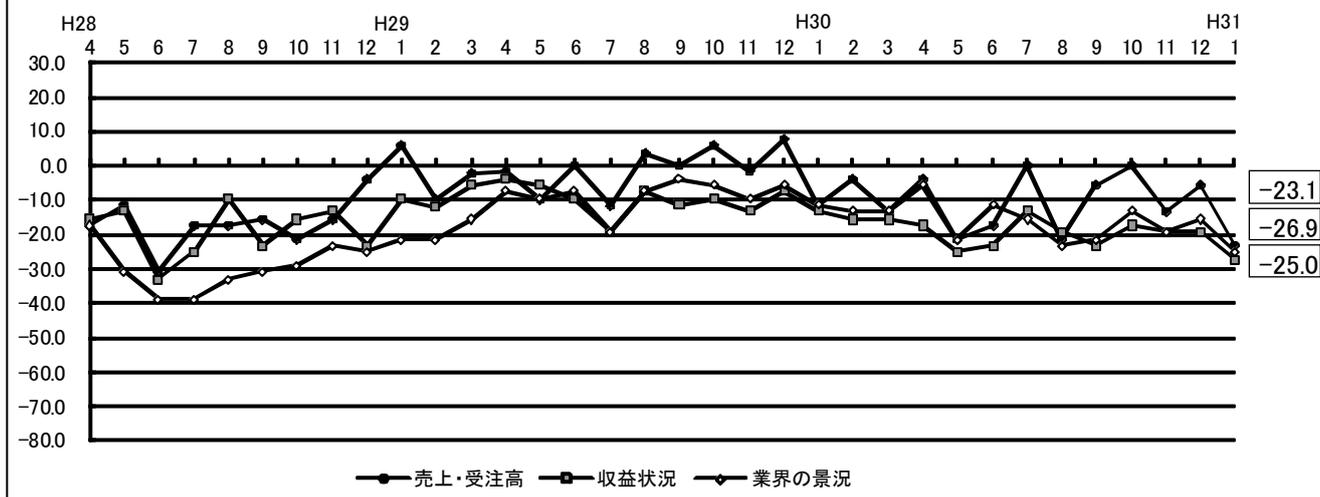
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成31年1月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 1月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「在庫数量」「雇用人員」の2指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」の6指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より17.3ポイント下降し-23.1ポイント、「収益状況」が7.7ポイント下降し-26.9ポイント、「業界の景況」が前月より9.6ポイント下降し-25.0ポイントであった。
- 1月は、多くの数値がマイナスに転じる中、特に主要3指標の下降幅が著しい結果となり、景況感の悪化が鮮明となった。製造業では、原材料費の高騰によるコスト増のほか、大手メーカーの生産調整による受注減が景況感の下押しに大きく影響している。小売・サービス業では、年末年始の繁忙期の反動に加え、天候不順やインフルエンザ流行の影響により売上が伸び悩んだ。また、全業種にわたって人手不足の慢性化が、依然として深刻な状況にある。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-23.1	-17.3	-15.8	-4.6
収益状況	-26.9	-7.7	-21.3	-3.1
業界の景況	-25.0	-9.6	-23.2	-5.6

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より17.3ポイント下降し、-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より4.6ポイント下降し-15.8ポイントとなった。

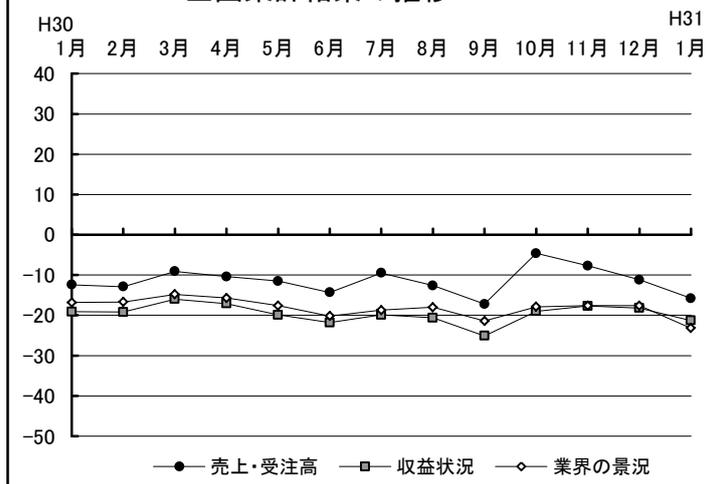
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より7.7ポイント下降し、-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より3.1ポイント下降し-21.3ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より9.6ポイント下降し、-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より5.6ポイント下降し-23.2ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概 況-

1月の前年同月比D I 値は、前月の前年同月比D I 値と比べ、9指標中「在庫数量」「雇用人員」の2指標が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」の6指標が下降した。

主要3指標は、「売上高」が前月より17.3ポイント下降し-23.1ポイント、「収益状況」が7.7ポイント下降し-26.9ポイント、「業界の景況」が前月より9.6ポイント下降し-25.0ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、3業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇、2業種が下降した。「業界の景況」は製造業で7業種中3業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が下降した。

1月は、多くの数値がマイナスに転じる中、特に主要3指標の下降幅が著しい結果となり、景況感の悪化が鮮明となった。製造業では、原材料費の高騰によるコスト増のほか、大手メーカーの生産調整による受注減が景況感の下押しに大きく影響している。小売・サービス業では、年末年始の繁忙期の反動に加え、天候不順やインフルエンザ流行の影響により売上が伸び悩んだ。また、全業種にわたって人手不足の慢性化が、依然として深刻な状況にある。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	×	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	×	×	△	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	×	△	△	×	△	△	△	△
一般機器	△	○	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	0.0	0.0	-25.0	-75.0	-50.0	-25.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-50.0	0.0	-25.0	-50.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
木材・木製品	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
一般機器	-25.0	50.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	-28.0	0.0	0.0	-16.0	-32.0	-20.0	-16.0	0.0	-24.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-71.4	-42.9	14.3	-28.6	-57.1	-28.6		0.0	-71.4
サービス業	-16.7		-16.7	-16.7	-50.0	-16.7		0.0	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-18.5	-30.0	0.0	-14.8	-22.2	-11.1		0.0	-25.9
全体	-23.1	-8.6	0.0	-15.4	-26.9	-15.4	-16.0	0.0	-25.0

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年 1月	前月 比
売上高	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	-21.2	-5.8	0.0	-13.5	-5.8	-23.1	-17.3
在庫数量	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	-11.4	-2.9	-17.1	-5.7	-17.1	-8.6	8.5
販売価格	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	-7.7
取引条件	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	-3.8	-3.8	-5.8	-11.5	-9.6	-15.4	-5.8
収益状況	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	-19.2	-23.1	-17.3	-19.2	-19.2	-26.9	-7.7
資金繰り	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	-11.5	-11.5	-9.6	-9.6	-15.4	-15.4	0.0
設備操業度	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0	0.0	4.0	4.0	-16.0	-20.0
雇用人員	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-7.7	1.9	-3.8	-1.9	-5.8	0.0	5.8
業界の景況	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-23.1	-21.2	-13.5	-19.2	-15.4	-25.0	-9.6

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	75.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
一般機器	-50.0	25.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
製造業	-20.0	16.0	-8.0	-8.0	-12.0	0.0	-20.0	4.0	-12.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.3	-14.3	-14.3	0.0	0.0	0.0		14.3	0.0
サービス業	-33.4		-16.7	0.0	-16.7	0.0		0.0	-16.6
建設業	-40.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		25.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-14.8		-10.0	-7.4	-3.7	-3.7		0.0	7.4
全体	-17.3	8.5	-7.7	-5.8	-7.7	0.0	-20.0	5.8	-9.6

特記事項

情報連絡員報告（平成31年1月分）

所属組合	特記事項
縫製業	今月は企業間の格差が広がっている。布綿関係は低調で工賃は上がりず大苦戦だが、メリヤス関係は順調で昨年を上回る受注で忙しい事業所も一部にはある。ただ、店頭の売価ありきでの工賃設定は限界を超えており、縫製業は20年前から工賃はそのまま、人件費、材料費、運送費はどんどん上がり続けており、厳しい状況は続いている。
染色整理業	一部の企業で悪化がみられる。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	昨年末から1月までは組合員各社ともに工場の稼働状況はまずまずといったところのようだ。合わせる生地とトーションレースの相性が良いとの声も聞かれる。大幅な売り上げ増とは行かないが、ブランドによっては積極的な動きも感じられている。
一般製材業	例年1月は稼働日数も少なく、売上高は高くはない。前年比としては多少良かったものの、大きな変化はなかった。2月の予定は少し持ち直しの感があるが、稼働日数が28日と少ないので、効率をあげていきたいと考えている。
印刷業	製紙各社は、原燃料価格と物流費の上昇を理由に、印刷用紙の値上げを断行し、また、運送業界では労働確保を理由に運賃の値上げが相次いで実施されている。印刷業界は、お客様のご要望に応えるべく、コストダウンに努めてきたが、今回の印刷用紙及び運賃の値上がり分のコスト吸収は最早限界を超えることから、お客様には、これらの諸事情をご覧察いただき、今後の印刷物発注に際しては格別のご理解を得ることが重要となる。
石灰製造業	1月については、昨年と大きな変化、荷動きはなかった。昨年並みの状況であった。
砕石製造業	出荷量（4～12月）は、昨年同期比0.2%増で推移している。
金属製品製造業	自動車部品関連、機械設備関連、工作機械関連、プレス金型関連、半導体関連いずれも低下（スバルの生産一時停止）。
一般機械器具製造業	31年1月の報告は、前年同月と比較し、売上高の減少並びに収益状況の悪化懸念が出てきた。その他は、ほぼ不変という結果となった。受注量の不安があり、また、仕入単価は横ばいの状況ではあるものの、今後に不安を残す結果となっている。なお、人手不足も継続中である。
一般機械器具製造業	昨日、スバル社下請の新春懇談会があった。スバル社は1月16日より約10日間、2万台分の生産を停止したとのこと。皆さん、かなり困っている節の話だった。自動車業界はかなり生産調整局面で動いているようだ。その為、他業界への影響も大きく、総じて景況感はないようだ。
各種商品卸売業	団地内企業は、前月に続き概ね不変又はやや増加・好転とする企業もあるが、業種により厳しい企業も見受けられる。また、団地内企業1社が事業廃止となった。
食肉小売業	正月明け、需要が停滞している。相場も低調で安値で推移しているため、粗利は良くなっている。
各種商品小売業	大変厳しい1月だった。全業種ともに売上が伸びない期であった。大型店も苦戦の月であった。
各種商品小売業	全体として非常に厳しく、前年をクリア出来たのは「飲食・食品」の部門のみであった。正月期間の売上は好調であったにもかかわらず、中旬以降の落ち込みが想定以上に大きく、平時の売上・集客に大きな課題が残った。セール外での集客についても考えていきたい。
花・植木小売業	寒さの影響と年末商戦の反動から、店頭への来客は少なく売上は低迷した。葬儀関係の業務需要以外では動きも鈍い時期でもあるため、市場の入荷量は少ないにもかかわらず、単価の方もさほどは上がらない市況状況となった。
理容業	後継者のいない高齢組合員の脱退・廃業が依然として増加している。対応策を全支部にて早急に考え、対応していく所存である。

自動車整備業	増販期に入り、売上高が若干ではあるが前年比を上回った。ユーザーニーズに対応し、売上増を目指す。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率は1月は例年低い。2019年も同様に低稼働だったが、昨年よりは微増であった。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用がすべてではなくなっている。新年会はここ数年のトレンド通り同件数受注しているが、インフルエンザの大流行により人数減やキャンセルが多く、全体の利用人数が日々減っていった。飲食店利用に関しては、年始のご利用まで順調に繁忙期を迎えた。中盤は寒さとインフルエンザの流行などにより客足が鈍くなった。
ビルメンテナンス業	倉庫内作業請負の事業高が減少し、収益性が悪化した。アパート関連の清掃、営繕等のスポット業務は少し増加した。
給食センター	売上高は、産業弁当の食数減や不採算部門の撤退等により減少となった。米や野菜等の食材や燃料の値上げにより、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは11%減、敷物用ラベルは12%増、壁装用ラベルは4%減であった。カーテン用ラベル・敷物用ラベルは減少した。防災ラベルの支給（売上）金額では45%減であった。2月・3月に期待したい。
一般貨物自動車運送業	ドライバー不足が深刻化している中、長時間労働是正など環境改善を図り、必要な人材確保が緊急な課題である。燃料価格は3ヶ月連続値下げとなった。
貨物軽自動車運送業	元日より6日までは正月休みもあり低調な動きであった。例年通りの動きと思っていたが、一転、中旬～下旬までは建設資材、食品、飲料、精密機器など様々な分野でのご依頼が非常に多くあり、例年の1月よりも動きが良く、好転の兆しを少し感じる事ができた。
一般乗用旅客自動車運送業	特定地域事業計画実施結果によるものか、運転者不足あるいは車両供給不足なのか確実な要因はわからないが、前年比で若干の売上増になっている。また、週末の夜のお客様が増えている。
大谷石採石業	前年同月比で微減で推移した。大谷石も含むブロック塀で、国からの対応説明会や、市からの大谷石石蔵等の保全・活用の講習会等の動きが活発となっている。